

才能あふれる若手落語家がしのぎを削る

名人はここから誕生する！

五代目柳家小さん、三代目桂米朝、十代目柳家小三治…。人間国宝に認定されるような落語家にも駆け出しの下積み時代は必ず存在する。入門してすぐに注目を集め、若くして頭角を現す噺家もいれば、稽古や精進を重ねてもなかなか評価されず、時間をかけて才能を開花させる名人もいる。30年におよぶ所沢寄席を眺めてみても、立川志の輔、春風亭昇太、柳家喬太郎などは、出演を重ねるたびに噺家として成長し名人への道を歩み続けている。10月の所沢寄席は、将来大きな飛躍が期待される有望な若手が集いしのぎを削る。多士済々の花形が繰り出す話芸にご期待ください！



やなぎや
《2019年 真打昇進》 **柳家わさび**

柳家さん生に入門。現在では珍しい内弟子（住み込み）経験のある叩き上げの落語家。古典から世相を映しだした新作まで多彩なネタを飄々とした語り口で魅せる高座は秀逸。ツウの落語ファンの評判を呼び「笑点」の新メンバー候補として度々名前が挙がるなど注目を集めている。個性豊かな語り口と独自の世界観がくせになる。

りゅうてい こ ち ら く
《2019年 真打昇進》 **柳亭小痴楽**

東京都渋谷区生まれ！小気味よい生粋の江戸前口調で、古典落語を得意とする人気急上昇中の若手のホープ。故・五代目柳亭痴楽を父に持つサラブレッド。軽快なテンポ。胸のすく啖呵。落語の若い衆がそのまま飛び出してきたかのような高座。気風の良い江戸前の落語で客席を江戸の世界に引き込む。



ちようかろうももか
《2022年 真打昇進》 **蝶花楼桃花**

落語協会では10人目となる女性真打。うまい！可愛い！華がある！と三拍子揃った高座で「女流落語の歴史を変える！！」とも期待されるホープ。春風亭小朝に弟子入り後、「NHK新人演芸大賞」の決勝に進み注目を集めた。31日連続ネタおろしや「笑点」の出演、ラジオ番組など、各方面からひっぱり蛸。「蝶花楼」の亭号を復活させ、今後の活躍にますます期待が高まる。



2024年10月13日（日）14：00開演 第121回所沢寄席 花形若手特選会 →

